

# サステナビリティへの取り組み

## <最近の主な取り組み>

### ■ PRB (責任銀行原則) 署名

持続可能な開発目標 (SDGs) やパリ協定と整合した事業活動を銀行に促すことを目的に、国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) が提唱する「責任銀行原則 (PRB=Principles for Responsible Banking)」に署名いたしました。なお、この原則に国内の地方銀行 (地方銀行グループ) が署名するのは琉球銀行が3番目となります。



「責任銀行原則」は、銀行と社会の持続的な発展を目指し、持続可能な開発目標 (SDGs) やパリ協定で示されている社会の目標に対し、ポジティブ・ネガティブ両面で重要なインパクトを及ぼし得る分野を特定しています。そうした分野に対する取り組みに沿った戦略・目標を設定・実行し、透明性のある開示を行うためのフレームワークです。

琉球銀行は、この署名を通じて持続可能な開発に向けた取り組みを一層強化し、お客さまやステークホルダーと協力しながら、沖縄から世界に向けてポジティブなメッセージを発信してまいります。

### ■ 国際的環境評価機関CDPにおける「A-」評価認定

環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織 (NGO) であるCDPから、気候変動に対する「目標設定」「行動」「透明性」などの取り組みが評価され、上位から2番目の「A-」評価に認定されました。昨年度の「B」評価から1ランクアップとなります。



CDPは国際的な非営利組織で、毎年、企業に「気候変動」、「水セキュリティ」、「フォレスト」に関する調査を実施し、その結果を8段階 (A、A-、B、B-、C、C-、D、D-) で評価しています。

琉球銀行は2022年度から引き続き、CDP気候変動質問書への自主回答を行い、「A-」評価に認定されました。琉球銀行では「気候変動リスクの把握と対策」をマテリアリティ (重要課題) の一つとして特定し、環境関連商品の提供や様々な企業との連携、事業活動におけるCO2排出量の削減などの取り組みを積極的に進めています。

### ■ ESGを勘案した投融資活動等

気候変動をはじめとした ESG 課題の解決に資する商品・サービスの取り扱いを拡大していきます。

法人のお客さま向け商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「SDGs 応援サービス」(取り組み状況の診断や宣言書発行など) によるSDGs への取り組みサポート</li><li>● 「りゅうぎんSDGs ローン」による融資実行総額の0.10%相当分を世界遺産 (首里城復興、やんばる・西表島) の管理団体等へ寄付</li><li>● 「りゅうぎん ECO POWER」(資金使途: 気候変動対策に資する設備資金) による融資金利優遇</li><li>● 環境省「地域脱炭素融資促進利子補給事業」に基づく融資の取り扱い</li><li>● りゅうぎんグリーンローン、りゅうぎんソーシャルローン、りゅうぎんサステナビリティ・リンク・ローンの取り扱い</li><li>● 「J-クレジット運営管理業務」によるサービス等の提供</li></ul>
個人のお客さま向け商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>● 投資信託「グローバル ESG バランスファンド」の信託報酬の一部を沖縄県が実施するSDGs 関連事業に寄付</li><li>● 「ZEH」や「BELS」認定等を受けた物件を対象に住宅ローン・アパートローンの金利優遇。資金使途の拡大 (中古住宅・マンション取得資金、改装資金)</li></ul>
投資活動	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど、環境保全に取り組む資金を調達するために発行されるグリーンボンドへの投資</li><li>● 当行を含む沖縄県内企業で組成された琉球ファンド (運営: 株式会社琉球キャピタル) への参画・出資 (コロナ禍における資本支援を中心に円滑な事業承継や中長期的な事業拡大に資する県内企業への資金供給を担っている)</li><li>● 「BOR バンチャーファンド2号投資事業有限責任組合」(運営: 株式会社琉球キャピタル) の設立</li></ul>

# サステナビリティへの取り組み

## 文化振興

### りゅうぎん紅型デザインコンテスト／りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業



伝統文化支援事業として、毎年「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を開催しています。沖縄県の伝統工芸である紅型の技法を踏まえながら、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的としています。

また、600年以上の歴史がある、漆芸の技術伝承を支援する「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を実施しています。博物館や美術館に所蔵されているような、製作するにあたり高い技術が必要となる琉球漆器の複製を通して、沖縄県の伝統工芸である「琉球漆芸」の技術伝承や、産業継続の支援を目的としています。



りゅうぎん紅型デザインコンテスト



りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業



## 地域支援

### りゅうぎんユイマール助成会／ 一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団



「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで財源をつくっています。地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、「一般公募助成金」や「子ども居場所づくりイベント事業助成金」など、これまでの助成件数・金額は、1,543件、2億5,630万円となりました。(2024年3月31日時点)

また、一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団では、返還義務のない奨学金を給付する「りゅうぎん海外留学支援事業」や国際化事業・活動に携わる団体へ助成金を交付する「助成事業」を行っています。



りゅうぎんユイマール助成会  
(赤い羽根共同募金へ助成金贈呈)



りゅうぎんユイマール助成会  
(子ども居場所づくりイベント事業助成金贈呈)



りゅうぎん国際化振興財団  
(りゅうぎん海外留学支援事業)